

かんごぶ〜だより



12月

★ 皮膚障害予防に取り組む内視鏡室！ ★★☆☆

みなさんご存知のように、当センターでは、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）が積極的に行われています。なかでも、胃のESDは、治療開始から終了まで、短くて1時間、大きな病変になると3時間以上、同一体位で治療を行うこととなります。そこで検査室では、大内認定看護師や消化器内科の先生方、内視鏡検査技師を巻き込んで、「胃ESDにおける皮膚障害予防」に向けて取り組んでいます。

患者さんにかかわる時間は病棟看護師よりも短いのですが、だからこそ何倍ものやさしさと思いやりをもって、患者さんの安全・安楽にむけて、専門性を高められるよう研鑽し続けてまいります。 2階検査 宮原弘恵



枕の位置どう？ これじゃきつい！？ そうね～え 決まり！

写真は、長時間同一体位により圧迫される耳介部の除圧について研究しているところです。

★ ようこそ！ちいきっずの仲間たち ★★☆☆

先日、ちっちゃな、ちっちゃな、お客様が看護部長室をサプライズ訪問してくれました。なんとなんと、一足早いクリスマスプレゼント（写真）を携えて…。プレゼントは、食事やおやつを作ってくれる栄養士さんにも、届けられたとか…。さっそく、看護部長室の扉に飾っております。一度見に来てください。

師走とあって、彼らも多忙？のようで、次の訪問先の「どんぐり公園」に向かって、にぎやかな余韻を残して、看護部長室を後にしました。

プレゼントを届けてくれた、僕&私たちのママさん、働き続けてくれてありがとうございます。保育士さんも安心保育ありがとうございます。

